

佳作

## 「私のお兄ちゃん」

奈良県 橿原市立真菅小学校 四年 香川 知奈美

私のお兄ちゃんは、口うるさく、よくけんかもいっぱいするけれど、とても家族のことを思ってくれるやさしいお兄ちゃんです。

私の家族は、お母さんが仕事で昼、夜働いているから大変です。だからいろいろなことをがんばってくれるお兄ちゃんです。

毎日ではないけれど二つ目にはがんばっていることは、お母さんがいない時の食事を作ってくれます。お兄ちゃんは、いやだいやだと言っているけれど最後にはおいしいごはんを作ってくれます。私は、お兄ちゃんのお手伝をしておにいちゃん役に立てたらいなと思えました。二つ目は、せっかく物をあらったり、ハンガーでほしたりしてくれることです。お兄ちゃんは、いつも、私がバスケットから帰ってきたら、私のきたないシャツをせっかくきの中に入れてあります。あらい終わったら、私のバスケットのシャツをほしてくれます。三つ目は米たきです。私は、米たきができないのでいつもお兄ちゃんがしてくれます。お兄ちゃんが初めて米たきができたのがちょうど四年生の時だったそうです。私も、お兄ちゃんを見習って早く米たきができたらいいなと思えました。四つ目はあらい物です。いつもお母さんが仕事に行っていないから、お兄ちゃんが毎日、毎日あらい物をしてくれます。おかげでお母さんも、一つ仕事が少なくなったからよかったと思えました。いつも、お母さんは、助かったと喜んでいました。私にはその言葉がうれしく聞こえました。五つ目は、せっかく物を取り入れたら、せっかく物をたたんでくれることです。せっかく物は私が取り入れて、お兄ちゃんがたたむ役です。お兄ちゃんは、男の子なのにすごくきれいにたたんでくれるから、着る時、とても気持ちがいいです。お兄ちゃんは、お母さんに「オレは、大人になったら、一人ぐらしができる。」とじまんげに言っていました。私は、こんなに家のかじができるなら本当に一人ぐらしができるんじゃないかなと思いました。お兄ちゃん、家のことをやってくれて本当にありがとう。いつもありがとうとしよう直に言えないけど感しゃしています。お兄ちゃんは、お母さんをらしくにさせてあげようと思っていると思います。私もお兄ちゃんの役に立つようにならばいいと思います。